

18. 献血

少子高齢化の進行に伴う献血可能人口の減少や若年層の献血離れ等の影響もあり、献血者数は全国的に減少傾向にある。

また、輸血用血液製剤については国内の献血により供給されているが、アルブミン製剤など血漿分画製剤の原料においては、いまだに多くを外国からの輸入に依存している状況である。

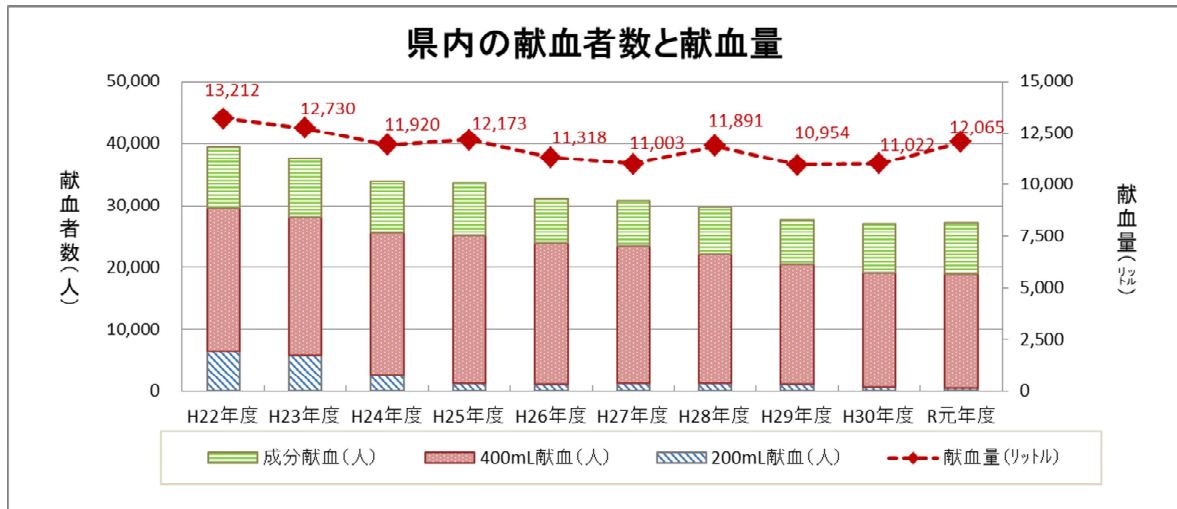
これらのことから、血液製剤の安全性の向上、献血による国内自給の原則、適正使用の推進、血液事業運営に係る公正の確保と透明性の向上を基本理念とした「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が平成15年7月に施行された。

この法律に基づき、「県内の医療機関で必要な血液は県民からの善意の献血で賄う」を合い言葉に、高知県赤十字血液センター、市町村、民間ボランティア等と連携し、若年層をはじめとする県民各層への献血の普及・啓発活動を行うとともに、地域での献血組織の育成強化を図る。

(1) 献血者数

令和元年度の献血者数は27,149人であり前年度より0.8%増、献血量は12,065リットルであり9.5%増であった。

なお、過去10年間の献血者数及び献血量は下記のとおりである。



	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	対前年比	構成比	R元年度目標値
200mL献血(人)	6,357	5,592	2,428	1,082	1,026	1,069	1,146	991	458	404	88.2%	1.5%	447
400mL献血(人)	23,105	22,491	23,046	23,952	22,869	22,308	20,904	19,394	18,632	18,542	99.5%	68.3%	19,056
成分献血(人)	9,932	9,434	8,371	8,558	7,088	7,278	7,657	7,137	7,842	8,203	104.6%	30.2%	7,910
計(人)	39,394	37,517	33,845	33,592	30,983	30,655	29,707	27,522	26,932	27,149	100.8%		27,413
献血量(リットル)	13,212	12,730	11,920	12,173	11,318	11,003	11,891	10,954	11,022	12,065	109.5%		11,902

(2) 献血適格率等の状況

令和元年度の献血申込者のうち献血ができなかった人数は、3,226人で、申込者のうち10.6%を占めた。

特に、血液比重が不足する献血申込者は、男性1.5%に対して、女性16.5%となっているが、これは男女による赤血球数の違いの影響が大きい。

令和元年度中の献血申込者数と献血ができなかった人数

区分	申込者数 (人)	献血できなかった人数(人)						献血者数 (人)		
		比重不足		その他		計		構成割合 (%)		
		構成割合 (%)	構成割合 (%)	構成割合 (%)	構成割合 (%)					
男	200mL献血	33	0	0.0	2	6.1	2	6.1	31	93.9
	400mL献血	14,074	227	1.6	542	3.9	769	5.5	13,305	94.5
	血しょう成分献血	3,872	36	0.9	79	2.0	115	3.0	3,757	97.0
	血小板成分献血	2,007	34	1.7	42	2.1	76	3.8	1,941	96.7
	計	19,986	297	1.5	665	3.3	962	4.8	19,034	95.2
女	200mL献血	464	45	9.7	46	9.9	91	19.6	373	80.4
	400mL献血	7,202	1,565	21.7	400	5.6	1,965	27.3	5,237	72.7
	血しょう成分献血	2,379	86	3.6	93	3.9	179	7.5	2,200	92.5
	血小板成分献血	334	19	5.7	10	3.0	29	8.7	305	91.3
	計	10,379	1,715	16.5	549	5.3	2,264	21.8	8,115	78.2
合計	200mL献血	497	45	9.1	48	9.7	93	18.7	404	81.3
	400mL献血	21,276	1,792	8.4	942	4.4	2,734	12.9	18,542	87.1
	血しょう成分献血	6,251	122	2.0	172	2.8	294	4.7	5,957	95.3
	血小板成分献血	2,341	53	2.3	52	2.2	105	4.5	2,246	95.9
	計	30,365	2,012	6.6	1,214	4.0	3,226	10.6	27,149	89.4

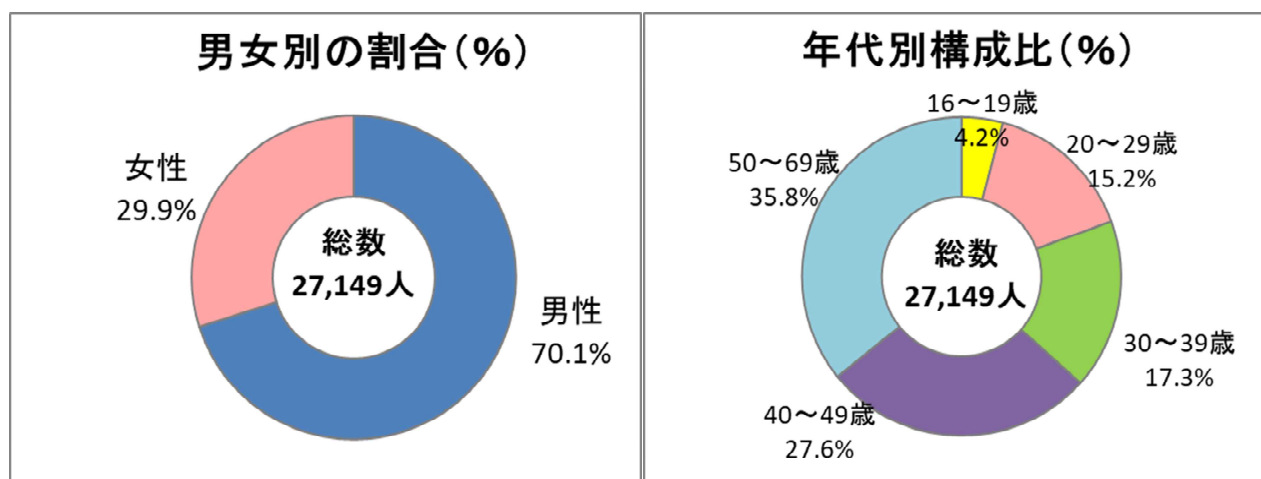
(3)性別・年代別からみた献血者の状況

献血者の性別の構成割合は、男性 70.1%、女性 29.9%となっている。

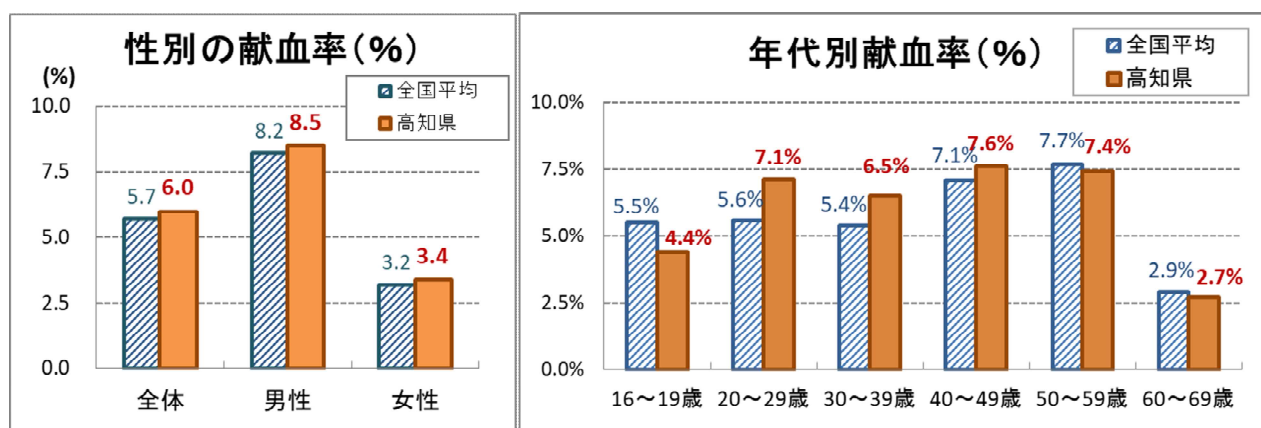
献血率を性別で見ると男性は全国平均より 0.3%、女性は 0.2%上回っている。また、年代別で見ると、20 歳代から 40 歳代で全国平均より高くなっている。

令和元年度 性別・年代別献血者数

	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血(人)	15	144	7	74	3	38	4	53	2	64	31	373	404
400mL献血(人)	551	276	2,135	849	2,363	810	3,645	1,403	4,611	1,899	13,305	5,237	18,542
血しょう成分献血(人)	43	91	335	520	637	471	1,066	534	1,676	584	3,757	2,200	5,957
血小板成分献血(人)	12	3	148	57	291	71	657	124	833	50	1,941	305	2,246
合計(人)	621	514	2,625	1,500	3,294	1,390	5,372	2,114	7,122	2,597	19,034	8,115	27,149



令和元年中の性別・年代別献血率



(注1) 1月から12月の献血者による献血率（献血者数は、日本赤十字社血液事業「令和元年血液事業統計資料～血液事業の現状～（平成31年1月～令和元年12月累計）」掲載データを利用）

(4) 血液製剤供給量の推移

県内における血液製剤の供給状況

上段:200mL 換算本数 (下段:実本数)

年度	全血製剤	赤血球製剤	血しょう製剤	血小板製剤	合計
H22	0 (0)	47,269 (26,480)	18,820 (5,229)	48,455 (4,846)	114,544 (36,555)
H23	0 (0)	46,586 (25,897)	19,428 (5,282)	52,170 (5,216)	118,184 (36,395)
H24	4 (2)	46,454 (24,428)	19,554 (5,348)	54,595 (5,501)	120,607 (35,279)
H25	0 (0)	45,093 (23,199)	22,649 (6,250)	54,085 (5,410)	121,827 (34,859)
H26	0 (0)	46,079 (23,578)	20,805 (5,743)	57,185 (5,718)	124,069 (35,039)
H27	0 (0)	42,984 (21,944)	18,320 (4,976)	58,560 (5,856)	119,864 (32,776)
H28	2 (2)	43,406 (21,997)	20,254 (5,303)	53,561 (5,358)	117,221 (32,658)
H29	0 (0)	42,123 (21,387)	15,269 (5,330)	57,460 (5,746)	114,852 (32,463)
H30	0 (0)	39,894 (20,214)	13,940 (4,893)	56,026 (5,634)	109,860 (30,741)
R元※	0 (0)	40,320 (20,418)	14,321 (5,016)	49,200 (4,920)	103,841 (30,354)

(注) 換算本数は、400mL 由来製剤=×2、 2単位=×2、 5単位=×5、 10単位=×10、
15単位=×15、 20単位=×20により算定

※令和元年度データ:全国血液センター供給本数速報(Ⅱ)平成31年4月～令和2年3月分累計より

